

別府市中心市街地活性化基本計画 (計画期間 20年7月～25年3月)

【中心市街地を巡る状況】

○別府市中心市街地は、日本一の湯量を誇り、有史以来温泉地として繁栄

○新婚旅行や修学旅行等の激減による宿泊観光客の減少による町の衰退により大型店の撤退や商店街が衰退

○中心市街地で体験型観光の実施や大型SCの誘致により中心市街地へ人を誘致し、雇用を確保する取組を実施



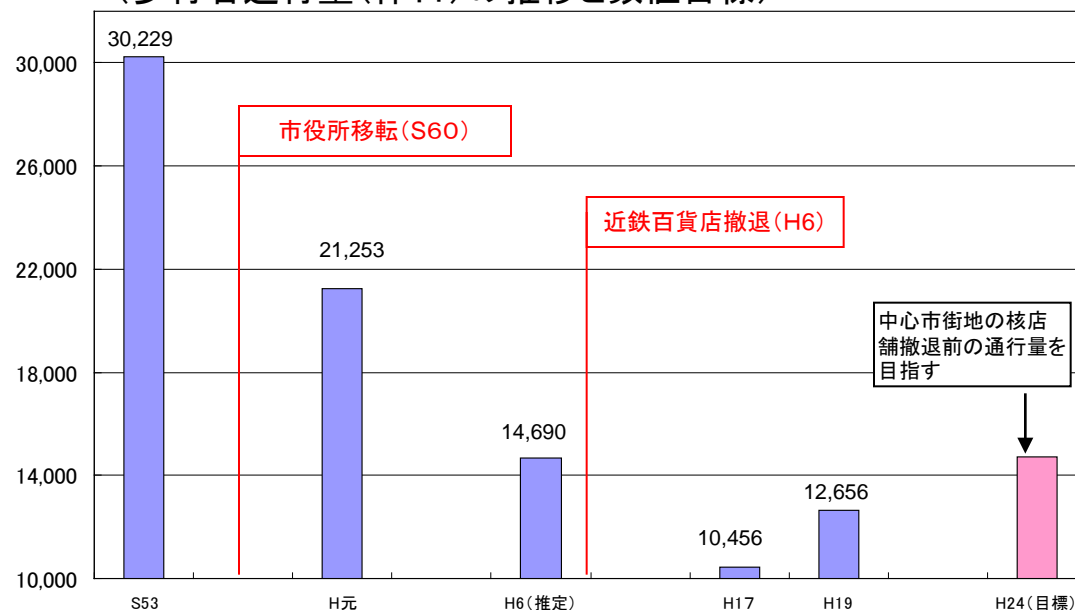
○中心市街地の年間商品販売額
H6: 440億円 → H16: 282億円 (△36%)

○中心市街地の歩行者通行量
H元: 21,253人 → H19: 12,656人 (△41%)

【目標】

| 目標 | 指標(現況年) | 現況値 | 目標値(H24) |
|------------|----------------|---------|----------|
| まちなかの賑わい創出 | 歩行者通行量(H19) | 12,656人 | 14,700人 |
| まちなか観光の活性化 | 観光宿泊客(H18) | 1,197千人 | 1,230千人 |
| まちなか商業の活性化 | 小売商業年間販売額(H16) | 282億円 | 390億円 |

人 (歩行者通行量(休日)の推移と数値目標) *調査地点: 7地点



基幹産業である観光の建て直しとして中心市街地を別府八湯観光の玄関口として再整備するとともに、これにより期待される雇用増に対して職住近接の環境を提供し、にぎわいの創出を目指す。

別府市中心市街地活性化基本計画の事業概要

まちなか商業の活性化

○大型店でのイベント事業

中心市街地内に誘致した大型店(ゆめタウン)において商店街及び住民との共同イベントを実施



ゆめタウン別府店

○共同イベント事業

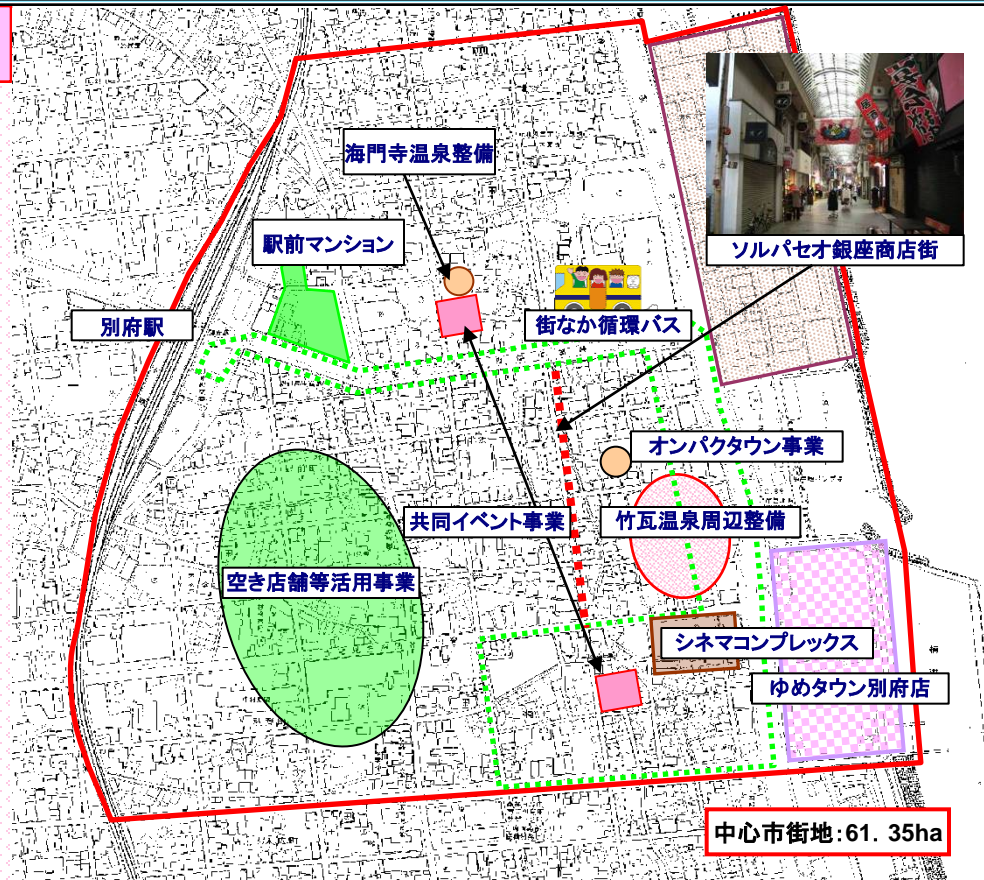
商店街、旅館ホテル等が一体となり、空き店舗等を活用し、朝市や屋台村、共通割引を実施

○ソルパセオ銀座テナントミックス

空き店舗を活用し、大型店にない魅力あるテナントを誘致

○街なか循環バス(緑破線)

中心市街地内の低料金バス運行



まちなかの賑わい創出

○空き店舗等活用事業

空き店舗等を活用し、保育サービスや高齢者デイサービス、ミニ美術館、ミニ図書館等の福祉施設や文化施設を8箇所に設置



空き店舗のリノベーション(改修)によるコミュニティカフェ

○シネマコンプレックス建設事業

市民から要望の強かった複合映画館建設と、商店街と共同利用する駐車場を整備

○駅前跡地の開発

平成6年の近鉄百貨店撤退以来空き地となっている駅前土地に商業施設も備えたマンションを整備

まちなか観光の活性化

○オンパクタウン事業

期間限定のイベントである「別府八湯温泉泊覧会」(オンパク)を常に体験できる施設を整備し、中心市街地を含む別府温泉全体の体験型観光の拠点とする。



オンパクタウン

○別府市ONSENツーリズム推進プロジェクト

従来の団体客型の観光と異なる地域資源を活用したツーリズム観光を推進



浴衣教室



路地裏散策ツアー

○市営温泉改築等事業

市営温泉のうち老朽化の進んだ海門寺温泉の改築や竹瓦温泉周辺を建物にマッチした環境整備の実施



海門寺温泉



竹瓦温泉

○別府リバイバル新婚旅行

昭和40年代に別府に新婚旅行で訪れた団塊の世代を対象に当時の風俗を展示した博物館を設置するとともに、福岡等で宣伝活動を実施



別府リバイバル新婚旅行

別府市